

# はじめにお読みください (README.HTM)

## RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)

## RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E03 (CD-R Auto Writer with Viewer)

### Version 1.0.3.0

2019年07月

---

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」、または「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E03 (CD-R Auto Writer with Viewer)」をご利用いただきありがとうございます。

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E03 (CD-R Auto Writer with Viewer)」には、

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer) (以下「TotalFlow-ER CD-R Auto Writer」、「CD-R Auto Writer)」と

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Extension-E02 (ER Local Viewer) (以下「TotalFlow-ER Local Viewer」、「ER Local Viewer)」が同梱されています。

本READMEファイルには、「CD-R Auto Writer」に関して、本バージョンにおける変更点、プログラムの導入手順、マニュアルについて記載されています。「CD-R Auto Writer」をご使用になる前にご一読くださるようお願いいたします。

---

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer Version 1.0.3.0 での制限事項

- 「PDF Receiver」が作成した帳票ファイルは扱えません。

「CD-R Auto Writer」は「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Connector-E03 (PDF Receiver)」が作成した帳票ファイルを、CD-Rにバックアップすることができません。

- CDラベル・ファイルは自動的に削除されません。

「Rimage Network Publisher」がCD-Rのラベルを作成するのに必要な情報が、「CDラベル・ファイル」に記述されます。

バージョン「V1.0.2.0」から、「CD-R Auto Writer」がオーダー・ファイルと共に「CDラベル・ファイル」を作成します。

オーダー・ファイルは、「Rimage Network Publisher」がCD-Rの作成後に自動的に削除しますが、「CDラベル・ファイル」は削除されません。したがって、「CDラベル・ファイルの出力先」に残った「CDラベル・ファイル」は、適宜削除する必要があります。

- 指定するディレクトリー名に全角文字などを使用できない場合があります。

次のディレクトリー名には、ASCII文字だけが使用でき、全角文字や半角カタカナなどの日本語文字は使用できません。

- サブプロファイルの項目：帳票ファイルの出力先、CDラベル・ファイルの出力先
- スケルトンファイルの項目：印刷定義ファイル（CDLFile）、印刷ビットマップファイル（BMPFile）

---

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer Version 1.0.3.0 での変更点（2019年07月）

V1.0.3.0（2016年03月）からの変更点は、以下のとおりです。

- CD作成機として「RIMAGE社製 Allegro 100」を追加  
「NWPモード」で使用する必要があります。  
「NWPモード」で使用するには、プロファイル「WPMWBKCD.PRO」に「SUPPORT\_TYPE = NWP」を記述する必要があります。（この記述がない場合の「ALFモード」は動作検証されていません。）
- 稼働環境として次を追加
  - Windows 10 Pro（64ビット版）
  - Windows 10 Enterprise LTSC 2019（64ビット版）
  - Windows Server 2016
  - Windows Server 2019

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer Version 1.0.3.0 での変更点（2016年03月）

V1.0.2.0からの変更点は、以下のとおりです。

- 稼働環境として「Windows 10 Pro（32ビット版のみ）」を追加
- CDラベル・ファイルのデフォルトのパス名を指定する機能の追加

V1.0.2.0から追加された「Rimage Network Publisher」用オーダー・ファイルを作成するには、サブプロファイルに新たに追加されたCDラベル・ファイルのパス名を指定することが必要です。しかし、V1.0.2.0よりも前のCD-R Auto Writerで使用していたサブプロファイルには、CDラベル・ファイルのパス名の指定がないため、そのままは使用できません。CDラベル・ファイルのパス名の指定がないサブプロファイルをそのまま使用できるように、プロファイルにCDラベル・ファイルのパス名を指定できるようになりました。

- オーダー・ファイルが別のマシンで処理される場合の不具合の修正

「CD-R Auto Writer」と「Rimage Network Publisher」が別のPCで稼働する環境で、「Rimage Network Publisher」用オーダー・ファイルを作成する時（NWPモード）に、オーダー・ファイル内に記述されるCDラベル・ファイルのパス名が指定できない不具合を修正しました。

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer Version 1.0.2.0 での変更点

V1.0.0.0 からの変更点は、以下のとおりです。

- 稼働環境として次を追加
  - Windows Server 2012 R2
  - Windows 8.1 Pro（32ビット版のみ）
- 「Rimage Network Publisher」用オーダー・ファイルの作成機能の追加

従来の「AutoLoadFile」の作成に加えて、「Rimage Network Publisher」用オーダー・ファイルを作成できるようになりました。これにより、「CD-R Auto Writer」から「Rimage Network Publisher」を経由して、CD-R作成機「Rimage 2000i」へ出力できるようになりました。

ただし、「Rimage Network Publisher」との連携の動作確認がされているのは、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 のみです。

- ヘルプ機能の削除

プログラムの画面内のヘルプ・ボタン、および、タスクトレイからのポップアップ・メニュー内の「目次」を削除しました。

使用方法などについては、マニュアルを参照ください。

- 「AutoLoadFile」の名称の変更

プログラムおよびマニュアルでは、従来の「AutoLoadFile」は、「Rimage Network Publisher」用オーダー・ファイルと明示的に区別が必要な場合以外は、総称としての「オーダー・ファイル」という名称に変更されました。

- 不要な「AutoLoadFile」の削除

「オーダー・ファイルの出力先」（「AUTOLOADFILEの出力先」）に「AutoLoadFile」をコピーできなかった場合、従来は「帳票ファイルの出力先」（「出力先」）のディレクトリに「AutoLoadFile」が残っていましたが、これを削除するようにしました。

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer Version 1.0.0.0 での変更点

WPM CD-R Auto Writer V3.2 からの変更点は、以下のとおりです。

- 稼働環境として次を追加
  - Windows Server 2012
  - Windows 8 Pro（ただし、Version 1.0.3.0で削除）

---

WPM CD-R Auto Writer V3.2 までの変更点については [README\\_WPM.htm](#) をご参照ください。

---

## 導入方法 - 初めて導入する場合

CD-R Auto Writer の導入手順を示します。

1. CD-ROMドライブに「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」のCD-ROMをセットします。
2. CD-ROM中の「ER\_BKCD」ディレクトリーの「install.exe」を実行します。
3. インストーラーの指示にしたがい、CD-R Auto Writer の導入を行います。

## 導入方法 - 更新する場合

本バージョン「V1.0.3.0」は、以下の製品を更新することができます。

- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer) V1.0.0.0 (ベース・パッケージ)
- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer) V1.0.2.0 (Product Update 2)

CD-R Auto Writer の更新手順を示します。

1. CD-R Auto Writer を起動している場合は、終了します。
2. 下記の「更新されたファイル」に記載されているファイルのバックアップを行います。
3. CD-ROMドライブに「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」のCD-ROMをセットします。
4. CD-ROM中の「ER\_BKCD」ディレクトリーの「install.exe」を実行します。
5. インストーラーの指示にしたがい、CD-R Auto Writer の導入を行います。(\*1)
6. すでに導入されている CD-R Auto Writer が「V1.0.3.0」に更新されます。

(\*1) 「インストール前の要約」パネルで [インストール] ボタンを押して導入が開始された後に、「インストール中」パネルで [キャンセル] ボタンを押すと、更新版だけでなく、既に導入されていた「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」全体が削除されます。

---

## WPMから移行する場合

WPM CD-R Auto Writer から TotalFlow-ER CD-R Auto Writer にバージョンアップする場合、マニュアルの「移行について」をご参照ください。

---

## 更新されたファイル

次のファイルが更新・追加されました。

- 更新されたファイル
  - License.txt
  - Wpmwbkcd.exe
  - ER\_CDWriter.pdf
  - README.htm
  - ETC¥WPMREG.zip
- 追加されたファイル
  - README\_WPM.htm
- 削除されたファイル
  - wpmwbkcd.hlp
  - wpmwbkcd.CNT

更新された WPMREG.zip 中のファイル

- 更新されたファイル
  - WpmReg.exe
- 追加されたファイル
  - WpmReg.pdf
- 削除されたファイル
  - WpmReg.hlp
  - wpmreg.CNT

---

## 確認方法

1. CD-R Auto Writerを起動します。
2. タスクトレイに表示されるアイコンを選択した時に表示されるポップアップ・メニューから [製品情報] を選択して表示されるバージョン情報に、次のバージョンが表示されます。
  - Version 1.0.3.0

---

## 削除方法 - プログラムを削除する場合

導入されたプログラムの削除を行う(\*2)には、「コントロールパネル」の「プログラムと機能」より、「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」を選択して「アンインストールと変更」ボタンを押します。

(\*2)インストーラーが導入したファイルは、その後変更されていても、削除されます。削除されないファイルは、導入後に作成されたファイルです。必要に応じてバックアップを取っておくことをお勧めします。

## 削除方法 - 更新前のバージョンに戻す場合

「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)」の古いバージョンを本バージョンに更新した場合、バックアップした更新前のファイルを元の場所へ戻せば、機能的には本バージョンへの更新前の状態に戻ります。しかし、システム上のバージョンは戻りませんので、本バージョンを再度導入することはできません。

---

## TotalFlow-ER CD-R Auto Writer with Viewer について

TotalFlow-ER CD-R Auto Writer with Viewerをご使用の場合、ER Local ViewerをCD-R内に同梱して作成することができます。

ER Local Viewerを導入すると、導入ディレクトリーの下に「CD-R」ディレクトリーにCD-R専用のER Local Viewer実行ファイルおよびドキュメントがインストールされます。CD-R作成前に、このディレクトリーにある「wpmweb.jar」ファイルをCD-R Auto Writerの導入ディレクトリーにコピーしておいてください。

---

## マニュアルについて

CD-R Auto Writerでは、以下のマニュアルをPDFファイルとして同梱しています。

- RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E02 (CD-R Auto Writer)  
RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E03 (CD-R Auto Writer with Viewer)  
ユーザーズ・ガイド (ER\_CDWriter.pdf)

「ユーザーズ・ガイド」は、CD-R Auto Writer に関して詳細に説明するものです。この中には、セキュリティに関する記述がありますので、エンド・ユーザーがアクセスできない場所で管理することをお勧めします。

また、ER Local Viewer付きの「RICOH TotalFlow E-Report Manager - Writer-E03 (CD-R Auto Writer with Viewer)」の場合には、ER Local Viewerの導入ディレクトリーの下に「CD-R」ディレクトリーに、以下のマニュアルをPDFファイルとして同梱しています。

- RICOH TotalFlow E-Report Manager Extension-E02 (Local Viewer(CD版)) ユーザーズ・ガイド (ER\_CDViewer.pdf)

このマニュアルでは、CD内の帳票に対して表示・印刷・検索等が行えるER Local Viewerについて詳しく説明しています。

CD-R Auto Writerをお使いいただく前に、マニュアルを必ずお読みくださるようお願いいたします。

---

## サンプルについて

本製品では、「SAMPLE」ディレクトリーに、エキスパートマグネティック社製CD-Rライター（CS-100XまたはCVC-200X）およびRimage社製CD-Rライターを使用したラベル印刷時のため

の印刷定義ファイルのサンプルが同梱されています。

サンプルの導入には、インストール時に「インストールセットの選択」のダイアログボックスで [サンプルファイル] のチェックを有効にして導入を行ってください。

各ファイルの詳細については、「SAMPLE」ディレクトリー内の「READ\_SKT.TXT」を参照してください。

以上